

鳥羽志摩記者クラブ
加盟報道機関 各位

令和3年12月21日（火）

【照会先】

鳥羽市観光課 担当：村田

TEL 0599-25-1155

公共交通を利用した観光誘客事業

鉄道と宿泊をセットにした旅行商品販売とプロモーションの実施について

- 目的： 鳥羽市では、市内の経済全体の好循環を創出するため、近距離都市圏（関西圏及び中京圏）をターゲットに鉄道と宿泊をセットにした旅行商品（ひとりあたり 5,000 円割引）を販売する。また、誘客や宿泊の促進につながるよう、都市部ターミナル駅をはじめとする交通広告やインターネット広告での情報発信を行う。



- 事業概要： 事業①鉄道と宿泊をセットにした旅行商品の販売
鉄道と市内宿泊施設での宿泊をセットにした旅行商品の販売。

項目	内容
旅行商品販売期間	令和3年12月22(水)～令和4年3月8日(火) ※12/22(水)午後インターネットで販売開始
宿泊設定期間	令和4年1月11日(火)～3月9日(水) *3/9(水)宿泊が最終となります。3/10(木)帰着
販売者	近畿日本ツーリスト株式会社
商品内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中部または関西発で特急電車と市内宿泊がセットとなった旅行商品 ・旅行代金に対してひとりあたり 5,000 円（おとな・こども同額）を割り引き。 ※こどもは原則 6 歳以上～12 歳未満（小学生）
市内対象宿泊施設	約 25 施設（12/22 から順次販売開始）
対象人数	2,000 人程度を予定
旅行商品ランディングページ URL	https://www.knt.co.jp/meito/sp/tobakintetsu/ (12/22 午後公開)

事業②近距離都市圏での広告「COME COME TOBA」

近距離都市圏である関西圏及び中京圏をターゲットに鳥羽への誘客を促進する広告宣伝を実施する。主な広告宣伝媒体は、話題性があり、目を引く内容とするため、多くの人が行き交う主要ターミナル駅の壁面の大型広告やデジタルサイネージでの表示を行う。そのほか、SNS やバナー広告などインターネット上での広告を行う。

項目	内容
<p>広告名およびメインビジュアル</p>	<p>「COME COME TOBA (カム カム トバ)」</p> <p>鳥羽の代表的な冬期の地域資源である牡蠣をはじめ、温泉、ジュゴン、自然景観、真珠の写真を使用し、シンプルかつインパクト強く発信する。また、年明けらしい縁起物である招き猫を起用し、前向きで明るいイメージで鳥羽に来てほしいという思いから、「COME COME TOBA」をキャッチコピーとして起用。</p> <p>下ポスターデザインの一例</p>  <p>招き猫のキャラクターは鳥羽にちなんだ職業の服装を反映したデザインとなっており、左から「漁師招き猫」「おもてなし招き猫」「飼育員招き猫」「ホテルマン招き猫」「海女招き猫」。</p>
<p>広告場所及び期間</p>	<p>①駅での広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪難波駅(横長約 45m 大型広告、円柱広告) 令和 4 年 1 月 17 日 (月) ～1 月 23 日 (日) ・大阪難波駅(デジタルサイネージ 6 柱 23 面) 令和 4 年 1 月 17 日 (月) ～2 月 13 日 (日) ・近鉄名古屋駅(デジタルサイネージ 7 柱 20 面) 令和 4 年 1 月 17 日 (月) ～2 月 13 日 (日) ・近鉄名古屋駅(ホームフラッグ 40 枚) 令和 4 年 1 月 17 日 (月) ～1 月 23 日 (日) ・京都駅(デジタルサイネージ 3 面) 令和 4 年 1 月 17 日 (月) ～2 月 13 日 (日)

<ul style="list-style-type: none"> ・京都駅(光柱ステッカー6本) 令和4年1月17日(月)～1月23日(日) ・近鉄主要駅 駅貼りポスター 令和4年1月17日(月)～3月10日(木)の間随時 <p>②電車内の車両中吊ポスター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄 難波線、奈良線 6両1編成集中掲出 令和4年1月24日(月)～1月30日(日) ・近鉄 奈良線、大阪線、南大阪線、名古屋線など 令和4年1月17日(月)～3月10日(木)の間随時 <p>③WEBでの広告</p> <p>Facebook やInstagram、LINE などによる WEB 広告を令和4年1月17日(月)～2月16日(水)に実施。</p>
--

●鳥羽市長中村欣一郎のコメント

鳥羽市はコロナ禍の中、市独自で三重県民を対象とした宿泊キャンペーンを実施してきましたが、今後本格的な観光需要の回復を図るうえで、近郊都市部である関西圏や中京圏からの誘客は不可欠であると考えます。このたび、近鉄と連携し、誘客やプロモーションを実施することで、力強く観光誘客を進めることにより鳥羽のまち全体を元気にしたいと考えています。

ぜひ、海の幸や温泉など冬ならではの鳥羽へお越しいただければと思います。

●その他

- ・本事業の予算は地方創生臨時交付金を財源とした事業です(令和3年度第9号補正)。
- ・今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況や国や県等の施策によって、急きょ内容の見直しや一時中止など事業内容を変更する可能性があります。